

進路だより



平成28年1月発行
岐阜本巣特別支援学校
進路支援部 第10号

年が明けたと思ったらあっという間に一か月が経とうとしています。また、インフルエンザに注意が必要な時期になりました。そんな中、児童生徒はみんなしっかりと学習や運動に取り組んでいます。小・中学部、高等部の卒業式は3月に控えていますが、高等部の卒業式までは残すところ一か月となりました。社会に羽ばたく高等部卒業生には、総仕上げになるような有意義な学校生活を送って欲しいと思います。

高等部 肢体不自由・病弱クラス 先輩の話を聞く会

12月15日(火)、関特別支援学校卒業後、岐阜中央郵便局に勤務されている磯貝佳宏さんと同校卒業後、四年制大学進学、アルバイトを経て関市役所に勤務されている深見大輔さんのお二人を講師としてお招きし、先輩としてのお話をいただきました。

磯貝さんからは、体が不自由なため、職場の同僚、ヘルパーさんなど周りの人をお願いしなくては仕事や生活が成り立たないので、人との良いコミュニケーションはとても大切であることを中心にお話ししてくださいました。ヘルパーの支援を受け、一人暮らし6年になられます。

高等部3年生での急な就職から進学への進路変更により、進学は難しいといわれながらも自ら資料を探し、大学に合格したことや家庭事情により突然中途退学という事態になってもアルバイトや大手企業で働いてきたこと、人との対話が好きなため、関市役所での窓口業務にかかわって5年になることなどその時々のお気持ちと自分の思うようにやってみることの大切さをメッセージとして強調されました。ずっと続けている車椅子バスケット用の車椅子の披露や車椅子利用者の車への乗り方も教えていただきました。

生徒からいろいろな質問が出て、大変有意義な時間になりました。今後の学校生活や卒業後の生活に活かして欲しいと思います。

中学部の取組

中学部の進路に向けた取組を紹介します。

☆中学部3年生

生活単元学習で、年間を通して「自立に向けて」という単元を行ってきました。昨年度から、自分のことは自分でできるようになるというねらいの元、学習をしています。前期は、隔週で金曜日の6時間目に上靴洗いをし、上靴洗いをしない週には、ご飯を炊いておにぎりを作りました。後期には、カップラーメンを作ったり、ティーパックのお茶を入れたりしました。急須でお茶を入れたり、電子レンジを使ってパスタを茹でたりもしました。いつもはお家の人がしてくれていることでしたが、生徒が学校で挑戦し、興味をもつことで、家庭でも継続して行えると良いと思います。

☆知的障がい学級の取組【作業学習】

学校祭も終わり、1年生も手芸班とビーズ班に所属して、作業学習に取り組み始めました。今は、販売会に向けた製品づくりをしています。学校祭では、一生懸命作った製品を、たくさんの人に買ってもらうことができ、生徒たちはより一層「また頑張って作ろう」「また買ってほしいな」等の気持ちで、作業学習を行っています。作業学習では、将来働く大人になることを目指して、服装を整える、挨拶や報告を行う、時間を意識して行動する、準備・片付けを自分から行ったりなど、働くための基礎となる力を付けることをねらいとしています。4月に比べると、主体的な姿が増えるとともに、とても落ち着いて作業学習に取り組めるようになりました。

☆重複障がい学級の取組

【高等部校内作業実習の見学と体験】

自立4組の生徒は、第2回校内作業実習のときに、高等部1年生の働く様子を見学を行いました。作業に取り組んでいる先輩を見ることができたのは貴重な体験になりました。いろいろな作業内容がある中のアルミホイルの解体、分別が印象的でした。アルミホイルを引っ張って芯と分別する先輩の姿をじっと見ている生徒もいました。

見学後、自分たちの教室に戻り、振り返りを行いました。振り返りでは、エプロンと手袋をして仕事をする服装で臨みました。直接アルミホイルを掴んで引っぱり、見てきた作業のアルミホイルの解体、分別を体験することができました。

☆肢体不自由・病弱学級の取組

教科や総合的な学習の時間で職業について学習しています。11月には、本巣市役所の仕事や仕事に就くまでの話を聞き、実際の仕事の一部を体験させていただきました。見学後生徒たちは、自分の将来について考え、毎日の学習や生活の取組を見直すなど、今の学校生活の課題を見つけることができました。

生徒たちが自分の夢や希望を持ち、将来就職や進学を決めることができるよう、支援を続けていきたいと思えます。

ご案内

高等部では、下記のとおり、生徒向けの研修会を行います。ぜひ、ご参加していただきますようご案内いたします。なお、参加希望の方は、直接会場にお越しください。

1 高等部1年1組～6組 「職業講話」

【日時】平成28年2月8日(月) 午前10時50分～11時40分

【会場】西体育館

【講師】岐阜公共職業安定所 雇用指導官 長谷川 和代 氏

【講話内容】「働くとは?働くために必要なこと」



2 高等部1年1組～6組、2年1組～6組対象 「就業体験先の話聞く会」

生徒、保護者等を対象として、生徒が就業体験をさせていただいた福祉就労先と一般企業先からお二人の講師に来ていただき、就業体験時の様子や課題、アドバイス等をいただきます。今後の就業体験や進路を考える上で参考し、これからの学校生活に生かしていく機会として役立てたいと思えます。

【日時】平成28年3月4日(金) 午前10時～11時35分

【会場】東体育館

【講師】(1) 本巣市障がい者就労支援センター みつば
所長 水野 範子 氏

(2) LFC株式会社 監査役 粥川 兼次 氏

【講話内容】「就業体験時における課題や今後に向けてのアドバイス」

進路情報

◇新規事業所：就労継続支援A型事業所

事業所名：ほまれの家 岐阜店 定員：15人

対象：身体障害、知的障害、精神障害等

内容：軽作業（ビニール製袋の穴あけ、製品の袋詰め、ポストイニング等）、中古本販売店でのクリーニング作業、施設外就労（ビルメンテナンス、中古販売店等）

時間：10:00～15:30（4.5時間）、昼食1時間、その他1時間ごとに途中休憩あり

住所：〒500-8175 岐阜市近島5丁目11番9号

電話番号：058-294-7665 FAX：058-294-7665

法人名：運営会社 WHS

その他：送迎有り（駅など30分程度のところまで、相談に応じます。）

一人一人の特性を踏まえて、仕事内容を決めて行きます。

見学、実習随時受け付けます。（※必ず学校の進路支援部を通してください。）